

# バハマ フリーダイビング世界大会

## 木下さん(大村出身) 総合優勝

日本記録更新



フリーダイビングの世界大会で日本記録を更新した木下さん(中央) 4月27日、バハマ(木下さん提供)

バハマで開かれた素潜りの深さを競うフリーダイビングの世界大会「SUUNTO Vertical Blue 2015」(4月27〜5月7日)で、大村市出身のフリーダイバー、木下紗由里さん(26)が自身が持つ日本記録を更新し、総合優勝に輝いた。9月にキプロスで開かれる世界選手権に向け、沖縄県を拠点に日々練習を重ねている。

昨年11〜12月の世界大調整を重ね、CNF60以上では、自力で潜るCNFIM80以上と自身の記録F種目で58分、ロープををさらに塗り替えた。「計使うFIM種目で68分画通りの練習で心身ともと、いずれも日本記録をにうまくピークに持って更新。今回は大会の1カ月前から現地入りして1日の練習は、身体へ



FIM種目でロープをつたって水面上がる木下さん(木下さん提供)

### 「潜るたびに新しい発見」

の負荷が大きいため3〜4時間。水圧に耐える身体づくりにはストレッチと横隔膜を動かすトレーニングが欠かせない。到達したことの深い深さに挑戦するのは恐怖感も伴うが、「潜るたびに新しい発見もある。大切なのはリラックスと集中のバランス」と笑顔を見せる。

ただ、海外遠征など活動を続けるためには資金面でサポートが不可欠。地元を中心に支援者を募ったところ、製麺業県内大手の狩野ジャパン(大村市、狩野喜治社長)が初のスポンサーとなった。

現在の世界記録はCNF71分、FIM91分とハードルは高い。「世界選手権は一発勝負。緊張感を味わいながら最大限の力を発揮したい」。地元企業の心強いバックアップを受けて、さらなる飛躍を誓った。(左海力也)